



2020年2月4日

各位

会社名 横河電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 奈良 寿
 コード番号 6841 東証第一部
 問い合わせ先 財務・IR部長 中谷 博彦
 Tel 0422-52-6845

特別損失(減損損失)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第3四半期決算において、以下の通り特別損失(減損損失)を計上することとしました。これに伴い、本日開催の取締役会において、2019年5月8日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 特別損失(減損損失)の計上について

2016年4月に買収した英国子会社:KBC Advanced Technologies Limited (以下、KBC社)は、買収後の急激な原油価格の下落など事業環境の変化により、当初計画から遅れて推移してきました。その後、事業環境の改善見通し等を踏まえた新たな事業計画のもとで、今期に入り受注は改善傾向を見せているものの、計画に対する収益面では未だ厳しい状況が続いています。

そのような状況の中、同社の現在の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえてその回収可能額を慎重に検討した結果、当第3四半期決算においてのれん等減損損失56億円を特別損失として計上することとしました。

2. 業績予想について

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	420,000	40,000	40,000	29,000	108.64
今回発表予想(B)	408,000	38,000	38,000	18,000	67.43
増減額(B-A)	△12,000	△2,000	△2,000	△11,000	—
増減率(%)	△2.9	△5.0	△5.0	△37.9	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	403,711	34,594	36,770	28,446	106.54

<通期想定為替レート>

	前回発表予想 (5/8)	今回発表予想 (2/4)
1米ドル平均レート	110円	109円
1ユーロ平均レート	130円	121円

修正の理由

売上高は、制御事業全体としては堅調に推移しているものの、主に為替変動の影響を考慮し、予想を120億円引き下げ4,080億円に修正しました。また、この売上高予想の修正に伴い、営業利益及び経常利益予想を見直し、それぞれ20億円引き下げ380億円に修正しました。

親会社株主に帰属する当期純利益予想については、営業利益及び経常利益予想の見直しに加え、前述の特別損失を計上したことなどから、110億円引き下げ180億円に修正しました。

3. 配当予想

期末の配当予想につきましては、年初に公表した利益配分に関する基本方針「株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要施策の一つと認識し、利益成長を通じて安定的・継続的な増配を目指します。具体的には、業績および中長期的な株主価値の最大化に向けた投資資金の確保、成長投資を支える財務基盤の維持を総合的に勘案しながら、連結配当性向30%を上回る配当水準の確保に努めます。また、一時的な要因で業績が悪化した場合においても、株主資本配当率を踏まえた安定的な配当の維持を図ります。」に基づき、業績及び資金の状況、中長期的な成長投資に向けた内部留保の確保、及び財務体質の健全性などを総合的に勘案した結果、2019年5月8日に公表した1株当たり17円に変更ありません。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2020年3月期	—	17.00	—		
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

4. 今後の取組み

当社およびKBC社共同での事業活動によりすでに成果が出始めているお客様基盤の共有、製品・サービス・ソリューションの共有による統合効果に加え、両社の技術・知見・人財の融合による新たなソリューション開発を進め、統合効果のさらなる拡大を目指した活動を展開しています。

現在取組み中の中期経営計画「Transformation2020」におけるデジタルトランスフォーメーションの実現と合わせ、OPEX(※) ビジネス拡大を通じた成長戦略において、KBC社の持つ技術・知見・人財は不可欠であり、当社の持つ強みと、KBC社が持つコンサルティング能力とテクノロジーを効果的に融合させ、「新しい課題解決型OPEXビジネス」を拡大していきます。

以 上

(※)OPEX: Operating Expenditure の略語